

16

[筑波大]

3つの曲線

$$C_1: y = \sin x \left(0 \leq x < \frac{\pi}{2}\right), \quad C_2: y = \cos x \left(0 \leq x < \frac{\pi}{2}\right), \quad C_3: y = \tan x \left(0 \leq x < \frac{\pi}{2}\right)$$

について、以下の問いに答えよ。

- (1) C_1 と C_2 の交点, C_2 と C_3 の交点, C_3 と C_1 の交点のそれぞれについて y 座標を求めよ。
- (2) C_1, C_2, C_3 によって囲まれる図形の面積を求めよ。

17

[京都大]

a を正の実数とする。座標平面において曲線 $y = \sin x$ ($0 \leq x \leq \pi$) と x 軸とで囲まれた図形の面積を S とし、曲線 $y = \sin x$ ($0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}$)、 $y = a \cos x$ ($0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}$) および x 軸で囲まれた図形の面積を T とする。このとき $S : T = 3 : 1$ となるような a の値を求めよ。

18

[東京大]

O を原点とする座標平面上の曲線 $C: y = \frac{1}{2}x + \sqrt{\frac{1}{4}x^2 + 2}$ と、その上の相異なる 2 点 $P_1(x_1, y_1)$, $P_2(x_2, y_2)$ を考える。

- (1) P_i ($i=1, 2$) を通る x 軸に平行な直線と、直線 $y=x$ との交点を、それぞれ H_i ($i=1, 2$) とする。このとき $\triangle OP_1H_1$ と $\triangle OP_2H_2$ の面積は等しいことを示せ。
- (2) $x_1 < x_2$ とする。このとき C の $x_1 \leq x \leq x_2$ の範囲にある部分と、線分 P_1O , P_2O とで囲まれる図形の面積を、 y_1, y_2 を用いて表せ。

19

[東北大]

$0 < t < 3$ のとき, 連立不等式

$$0 \leq y \leq \sin x, \quad 0 \leq x \leq t - y$$

の表す領域を x 軸のまわりに回転して得られる立体の体積を $V(t)$ とする。

$\frac{d}{dt} V(t) = \frac{\pi}{4}$ となる t と, そのときの $V(t)$ の値を求めよ。

20

[大阪大]

半径 3 の球 T_1 と半径 1 の球 T_2 が、内接した状態で空間に固定されている。半径 1 の球 S が次の条件(A), (B)を同時に満たしながら動く。

(A) S は T_1 の内部にあるか T_1 に内接している。

(B) S は T_2 の外部にあるか T_2 に外接している。

S の中心が存在しうる範囲を D とするとき、立体 D の体積を求めよ。

16

[筑波大]

- (1) $C_1: y = \sin x \cdots \cdots \textcircled{1}$, $C_2: y = \cos x \cdots \cdots \textcircled{2}$, $C_3: y = \tan x \cdots \cdots \textcircled{3}$ に対し,
 まず, C_1 と C_2 の交点は, $\textcircled{1}\textcircled{2}$ から, $\sin x = \cos x$ より, $\sqrt{2} \sin\left(x - \frac{\pi}{4}\right) = 0$

$$0 \leq x < \frac{\pi}{2} \text{ より, } x = \frac{\pi}{4}, y = \frac{\sqrt{2}}{2}$$

また, C_2 と C_3 の交点は, $\textcircled{2}\textcircled{3}$ から, $\cos x = \tan x$ より,

$$\cos^2 x = \sin x, \sin^2 x + \sin x - 1 = 0$$

$$0 \leq x < \frac{\pi}{2} \text{ における解を } x = \alpha \text{ とおくと, } \sin \alpha = \frac{-1 + \sqrt{5}}{2}$$

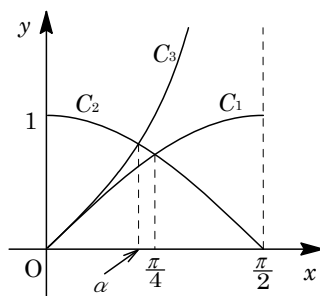
$$y = \cos \alpha = \sqrt{\sin \alpha} = \sqrt{\frac{-1 + \sqrt{5}}{2}}$$

さらに, C_3 と C_1 の交点は, $\textcircled{3}\textcircled{1}$ から, $\tan x = \sin x$ より, $\sin x(\cos x - 1) = 0$

$$0 \leq x < \frac{\pi}{2} \text{ より, } x = 0, y = 0$$

- (2) C_1, C_2, C_3 によって囲まれる図形の面積 S は,

$$\begin{aligned} S &= \int_0^\alpha \tan x \, dx + \int_\alpha^{\frac{\pi}{4}} \cos x \, dx - \int_0^{\frac{\pi}{4}} \sin x \, dx \\ &= [-\log|\cos x|]_0^\alpha + [\sin x]_\alpha^{\frac{\pi}{4}} + [\cos x]_0^{\frac{\pi}{4}} \\ &= -\log(\cos \alpha) + \log 1 + \frac{\sqrt{2}}{2} - \sin \alpha + \frac{\sqrt{2}}{2} - 1 \\ &= -\log \sqrt{\frac{-1 + \sqrt{5}}{2}} - \frac{-1 + \sqrt{5}}{2} + \sqrt{2} - 1 \\ &= -\frac{1}{2} \log \frac{-1 + \sqrt{5}}{2} + \sqrt{2} - \frac{\sqrt{5}}{2} - \frac{1}{2} \end{aligned}$$



[解説]

基本的な求積問題です。まったく同じ問題を解いたという記憶はあるものの、出典は思い浮かびません。

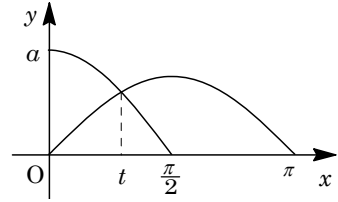
17

[京都大]

曲線 $y = \sin x$ ($0 \leq x \leq \pi$) と x 軸とで囲まれた図形の面積 S は、

$$S = \int_0^{\pi} \sin x \, dx = -[\cos x]_0^{\pi} = 2 \cdots \cdots \textcircled{1}$$

また、 $0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}$ における曲線 $y = \sin x$ 、 $y = a \cos x$



の交点を $x = t$ とおくと、

$$\sin t = a \cos t \cdots \cdots \textcircled{2}$$

すると、2 曲線 $y = \sin x$ 、 $y = a \cos x$ と x 軸で囲まれた図形の面積 T は、

$$\begin{aligned} T &= \int_0^t \sin x \, dx + \int_t^{\frac{\pi}{2}} a \cos x \, dx = -[\cos x]_0^t + a[\sin x]_t^{\frac{\pi}{2}} \\ &= -\cos t + 1 + a(1 - \sin t) = -a \sin t - \cos t + a + 1 \cdots \cdots \textcircled{3} \end{aligned}$$

さて、条件より $S : T = 3 : 1$ なので、 $S = 3T$ となり、 $\textcircled{1}\textcircled{3}$ から、

$$2 = 3(-a \sin t - \cos t + a + 1), \quad 3a \sin t + 3 \cos t - 3a - 1 = 0 \cdots \cdots \textcircled{4}$$

$\textcircled{2}\textcircled{4}$ より、 $3(a^2 + 1) \cos t = 3a + 1$ となり、

$$\cos t = \frac{3a + 1}{3(a^2 + 1)}, \quad \sin t = \frac{a(3a + 1)}{3(a^2 + 1)} \cdots \cdots \textcircled{5}$$

$\textcircled{5}$ を、 $\sin^2 t + \cos^2 t = 1$ に代入すると、 $\frac{a^2(3a + 1)^2}{9(a^2 + 1)^2} + \frac{(3a + 1)^2}{9(a^2 + 1)^2} = 1$

$$\frac{(3a + 1)^2}{9(a^2 + 1)} = 1, \quad 9a^2 + 6a + 1 = 9a^2 + 9$$

よって、 $a = \frac{4}{3}$ となり、この値は $a > 0$ を満たす。

[解説]

交点の x 座標を文字でおき、その条件 $\textcircled{2}$ を用いて、間接的に解き進めるタイプの有名問題です。演習必須の1題です。

18

[東京大]

(1) $C: y = \frac{1}{2}x + \sqrt{\frac{1}{4}x^2 + 2} = \frac{1}{2}(x + \sqrt{x^2 + 8}) \cdots \cdots (*)$ に対して,

$$y' = \frac{1}{2} \left(1 + \frac{x}{\sqrt{x^2 + 8}} \right) > 0, \quad y'' = \frac{1}{2} \cdot \frac{x^2 + 8 - x^2}{(x^2 + 8)\sqrt{x^2 + 8}} = \frac{4}{(x^2 + 8)\sqrt{x^2 + 8}} > 0$$

また, $\lim_{x \rightarrow \infty} y = \lim_{x \rightarrow \infty} \frac{1}{2}(x + \sqrt{x^2 + 8}) = \infty$ であり,

$$\lim_{x \rightarrow -\infty} y = \lim_{x \rightarrow -\infty} \frac{1}{2}(-x + \sqrt{x^2 + 8}) = \frac{1}{2} \lim_{x \rightarrow -\infty} \frac{8}{x + \sqrt{x^2 + 8}} = 0$$

さらに, $\lim_{x \rightarrow \infty} (y - x) = \lim_{x \rightarrow \infty} \frac{1}{2}(-x + \sqrt{x^2 + 8}) = 0$

よって, 曲線 C は下に凸であり, x 軸および直線 $y = x$ を漸近線としてもつ。

さて, $P_1(x_1, y_1)$, $P_2(x_2, y_2)$ から, $H_1(y_1, y_1)$, $H_2(y_2, y_2)$ となり,

$$\triangle OP_1H_1 = \frac{1}{2}(y_1 - x_1)y_1 = \frac{1}{8}(-x_1 + \sqrt{x_1^2 + 8})(x_1 + \sqrt{x_1^2 + 8}) = 1$$

同様に, $\triangle OP_2H_2 = 1$ となるので, $\triangle OP_1H_1 = \triangle OP_2H_2$ である。

(2) 2 直線 P_1H_1 と OP_2 の交点を I とおくと, $\triangle OP_1H_1 = \triangle OP_2H_2$ から,

$$\triangle OP_1H_1 - \triangle OIH_1 = \triangle OP_2H_2 - \triangle OIH_1$$

これより, C と線分 P_1O , P_2O とで囲まれる図形の面積 S は, C と線分 P_1H_1 , P_2H_2 , および直線 $y = x$ とで囲まれる図形の面積に等しい。

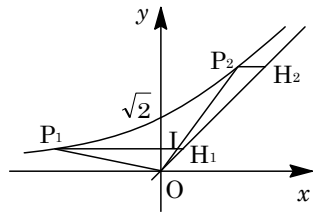
ここで, $(*)$ より, $2y = x + \sqrt{x^2 + 8}$ から, $(2y - x)^2 = x^2 + 8$

$$y^2 - yx = 2, \quad x = y - \frac{2}{y}$$

$$\text{よって, } S = \int_{y_1}^{y_2} \left\{ y - \left(y - \frac{2}{y} \right) \right\} dy = \int_{y_1}^{y_2} \frac{2}{y} dy = 2 \left[\log y \right]_{y_1}^{y_2} = 2 \log \frac{y_2}{y_1}$$

[解説]

曲線の概形を描くのに, 時間がかかります。なお, S は x で積分することによっても求められます。ただ, (1)を利用して, 置換積分を実行しても, 3 倍程度の記述量が必要です。最初はこの解法でしたが, 書き直しました。



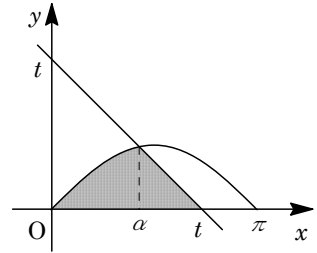
19

[東北大]

領域 $0 \leq y \leq \sin x \cdots \cdots \textcircled{1}$, $0 \leq x \leq t - y \cdots \cdots \textcircled{2}$ に対して,
 $0 < t < 3$ より, $\textcircled{1}$ の境界線 $y = \sin x$ と $\textcircled{2}$ の境界線 $y = t - x$
 の交点はただ 1 つ存在し, それを $x = \alpha$ とおくと,

$$\sin \alpha = t - \alpha, \quad t = \alpha + \sin \alpha \cdots \cdots \textcircled{3}$$

このとき, 右図の網点部を x 軸のまわりに回転して得られる立体の体積 $V(t)$ は, $\textcircled{3}$ を利用すると,



$$V(t) = \pi \int_0^{\alpha} \sin^2 x \, dx + \frac{1}{3} \pi (t - \alpha) \sin^2 \alpha = \pi \int_0^{\alpha} \sin^2 x \, dx + \frac{1}{3} \pi \sin^3 \alpha \cdots \cdots \textcircled{4}$$

ここで, $\textcircled{3}$ から, $\frac{dt}{d\alpha} = 1 + \cos \alpha$ となり, $\textcircled{4}$ より,

$$\frac{d}{dt} V(t) = \frac{d}{d\alpha} V(t) \frac{d\alpha}{dt} = (\pi \sin^2 \alpha + \pi \sin^2 \alpha \cos \alpha) \cdot \frac{1}{1 + \cos \alpha} = \pi \sin^2 \alpha$$

さて, 条件より, $\frac{d}{dt} V(t) = \frac{\pi}{4}$ なので, $\sin^2 \alpha = \frac{1}{4}$

$0 < \alpha < 3$ から, $\sin \alpha = \frac{1}{2}$ となり, $\alpha = \frac{\pi}{6}, \frac{5}{6}\pi$ である。

$\alpha = \frac{\pi}{6}$ のとき, $\textcircled{3}$ より $t = \frac{\pi}{6} + \frac{1}{2} < 3$ から適する。

$\alpha = \frac{5}{6}\pi$ のとき, $\textcircled{3}$ より $t = \frac{5}{6}\pi + \frac{1}{2} > \frac{5}{2} + \frac{1}{2} = 3$ から適さない。

よって, $t = \frac{\pi}{6} + \frac{1}{2}$ であり, このとき, $\textcircled{4}$ より,

$$\begin{aligned} V(t) &= \pi \int_0^{\frac{\pi}{6}} \sin^2 x \, dx + \frac{1}{3} \pi \sin^3 \frac{\pi}{6} = \frac{\pi}{2} \int_0^{\frac{\pi}{6}} (1 - \cos 2x) \, dx + \frac{1}{24} \pi \\ &= \frac{\pi}{2} \left[x - \frac{1}{2} \sin 2x \right]_0^{\frac{\pi}{6}} + \frac{1}{24} \pi = \frac{\pi^2}{12} - \left(\frac{\sqrt{3}}{8} - \frac{1}{24} \right) \pi \end{aligned}$$

[解説]

$0 < x < \pi$ において, $y = \sin x$ のグラフは上に凸であり, $x = \pi$ における接線の傾きが -1 であることから, $y = \sin x$ と $y = t - x$ の交点はただ 1 つであることがわかります。また, $0 < \alpha < \pi$ において, t は α の単調増加関数なので, α は t の関数になっています。

20

[大阪大]

条件より、球 T_1 , T_2 の中心をそれぞれ $(0, 0, 0)$, $(2, 0, 0)$ とすると、

$$T_1 : x^2 + y^2 + z^2 = 9, \quad T_2 : (x-2)^2 + y^2 + z^2 = 1$$

また、球 S の中心を (x_0, y_0, z_0) とおくと、

$$S : (x-x_0)^2 + (y-y_0)^2 + (z-z_0)^2 = 1$$

さて、 S は T_1 の内部にあるか T_1 に内接していることより、

$$\sqrt{x_0^2 + y_0^2 + z_0^2} \leq 3-1, \quad x_0^2 + y_0^2 + z_0^2 \leq 4 \cdots \cdots \textcircled{1}$$

また、 S は T_2 の外部にあるか T_2 に外接していることより、

$$\sqrt{(x_0-2)^2 + y_0^2 + z_0^2} \geq 1+1, \quad (x_0-2)^2 + y_0^2 + z_0^2 \geq 4 \cdots \cdots \textcircled{2}$$

よって、 S の中心が存在しうる範囲 D は、 $\textcircled{1}\textcircled{2}$ より、

$$x^2 + y^2 + z^2 \leq 4 \cdots \cdots \textcircled{1}'$$

$$(x-2)^2 + y^2 + z^2 \geq 4 \cdots \cdots \textcircled{2}'$$

ここで、平面 $x=k$ ($0 \leq k \leq 1$) で $\textcircled{1}'$ $\textcircled{2}'$ の共通範囲を切断すると、

$$y^2 + z^2 \leq 4 - k^2 \cdots \cdots \textcircled{1}''$$

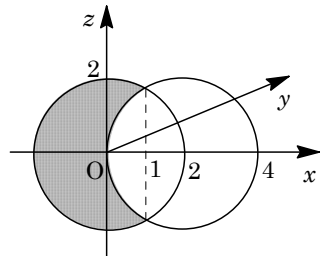
$$y^2 + z^2 \geq 4 - (k-2)^2 \cdots \cdots \textcircled{2}''$$

これより、切り口は、 x 軸上に中心があり、外径が $\sqrt{4-k^2}$ 、内径が $\sqrt{4-(k-2)^2}$ のドーナツ形であり、その面積 $S(k)$ は、

$$S(k) = \pi(4-k^2) - \pi\{4-(k-2)^2\} = \pi(4-4k)$$

これより、立体 D の体積 V は、

$$V = \frac{1}{2} \cdot \frac{4}{3} \pi \cdot 2^3 + \int_0^1 S(k) dk = \frac{16}{3} \pi + \int_0^1 \pi(4-4k) dk = \frac{16}{3} \pi + 2\pi = \frac{22}{3} \pi$$



[解説]

平面図形では頻出の内接と外接を題材にした問題です。対象が空間図形でも同じように考えることができます。なお、球面の方程式などについては「ピンポイントレクチャー」を参照してください。